

「つなぐ」プロジェクト事業

代表者 岡 龍駿（創造工学部 創造工学科 2年）

1. 目的と概要

本プロジェクト事業は、災害時の情報伝達や無線通信の重要性を大学や地域・社会に向け発信することを主たる目的とする。

災害時には有線通信が使用できなくなり、情報伝達が困難になる可能性があります。しかし、無線通信は生き残り情報を伝えることが可能です。東日本大震災でも、多くの地域で有線通信が途絶えてしまいました。そのような状況下でも、無線通信を用いてライフラインの寸断や救助要請等の重要な連絡通信を行ったことで、数々の命が救われました。

本事業は、前年度同様、以下の三項目を事業目標とします。

- ・ 災害時に不可欠である無線を『周知』する。
- ・ 災害時に不可欠である無線に関わる人員を『育成』する。
- ・ 災害時に不可欠である無線を『設置』する。

本年度は、事業を本格化させるための期間としました。

2. 実施期間（実施日）

平成31年4月1日から令和元3年3月1日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

①無線局の運用開始

平成31年3月11日に開局した「香川大学学生総合防災無線局」（無線局識別信号：JR5YFW）の運用を本格的に開始しました。



無線局を運用することにより、局員の通信技術向上を図るとともに、災害時の通信を行うモデルケースとなるため、日々努力しています。
また、県内屈指の立地を生かし、災害時の通信拠点となることも視野に運用しています。

②アンテナの設置

香川大学創造工学部 1 号館屋上に、今年度予算で購入したアマチュア無線アンテナ及びデジタル簡易無線アンテナを設置しました。

地域の無線局の方に手伝っていただきながら作業を進め、11月上旬に設置を完了しました。

新しくアンテナが設置されたことにより、県内屈指の通信拠点となることができ、瀬戸内圏域や東京等広範囲と通信を可能にしました。



③広報・局員募集

本年度から、かがラヂの運用を開始し、広報を学内外に行い、局員募集を実施しています。

現在、来年度の新入生歓迎会での局員確保を目途に企画立案を行っています。
ホームページ (<https://jr5yfw5.wixsite.com/home>) ・Twitter ページ等の開設を行い、学内や学外へ向けに情報を発信しています。

また、令和元年11月下旬～12月上旬に四国内で発行された朝日新聞に、香川大学学生総合防災無線局が紹介されました。

香川大学学生総合防災無線局

HOME | 総合防災無線局とは | 事業一覧 | リンク | お問い合わせ



香川大学学生総合防災無線局
付属機関 かがラヂ
ホームページは [こちら](#)

④学内連携

香川大学防犯パトロール隊が本局の協力機関となり、デジタル無線の活用、通信方法を探求しつつ、相互で活動を支援しあっています。



⑤学外連携

現在、香川県防災士会と共同で「香川県災害通信育成事業」（仮名）を計画し来年度に実施する予定です。

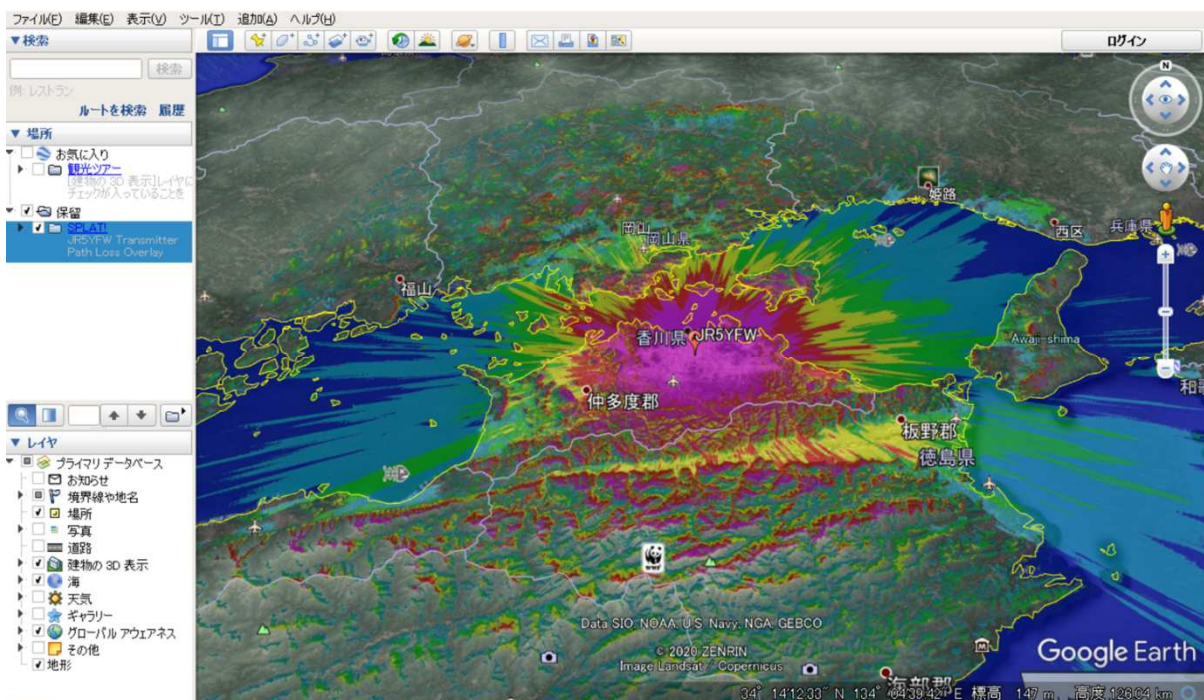
また、香川県防災士会高松南支部と共同で「災害時通信連携ネットワーク」（仮名）の構築の計画を行っています。

※香川県災害通信育成事業、災害時通信連携ネットワークについては、本局のホームページにて詳細を記載しています。

⑥大学・高専等との連携

現在、徳島大学内に設置されている、「徳島大学地域防災無線研究会」（会長：上野勝利准教授）と連携し、技術支援や指導をしていただいています。

今後、災害時通信連携ネットワークを構築していく中で、各大学、高専、高校との学生間の連携の強化をしていきたいと考えています。



↑香川大学学生総合防災無線局からの電波発射イメージ
(提供：徳島大学地域防災無線研究会)

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

上記にもありますが、令和元年11月下旬～12月上旬に四国内で発行された朝日新聞に、香川大学学生総合防災無線局が紹介されました。

これにより、私たちの活動が四国4県へ発信され、「無線が災害時に有効である」周知が行えました。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今年度は活動を本格化させる期間として、上記のように様々な活動を行いました。

これらの活動を行うにあたり多くの経験を積むことができました。特に学外との連携を行う際に様々な障害がありましたが、「災害時通信連携ネットワーク」の構築を行うことなどを提案し、災害発生時の通信に貢献が行えるよう活動しています。来年度は、さらなる連携強化等へ向け、活動を頑張っていきたいと考えています。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今後、今年度に計画した香川県災害通信育成事業や災害時通信連携ネットワークを軸とした学外・学内との連携を構築・強化します。

また、来年度中に幸町支局の設立を行えるよう、関係各所に調整を行います。

7. 実施メンバー

代表者	岡 龍駿	(創造工学部2年)
構成員	曾我部 海青	(工学部3年)
	江郷 颯人	(法学部3年)
	竹村 知晃	(創造工学部2年)
	岸上 英敏	(創造工学部2年)
	浜口 ゆきの	(法学部1年)
	塩崎 雄己	(経済学部1年)

8. 執行経費内訳書

配分予算額		300,000円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
アマチュア無線機	1	75,600	75,600	
アンテナチューナー	1	27,022	27,022	
デジタル簡易無線機	2	37,800	75,600	
スピーカーマイク	2	3,402	6,804	
空中線	1	64,260	64,260	
小型空中線	1	3,402	3,402	
アンテナ三脚	1	15,066	15,066	
変換ケーブル	1	2,916	2,916	
車載用空中線	1	6,742	6,742	
CF-706ディプレクサー	1	8,065	8,065	
中継ケーブル	1	3,795	3,795	
電波利用料	1	825	825	
切手	1	961	961	
収入印紙	1	2,900	2,900	
IDカード用作成キット	1	2,375	2,375	
移動運用時安全用品	1	3,667	3,667	
合計			300,000	